



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.7

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)岡沢町プロジェクト 邸新築工事	階数	地上3階
建設地	保土ヶ谷区岡沢町63番9の一部、64番8、64番12の一部、67番1	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	290 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年08月23日
敷地面積	2,554 m <sup>2</sup>	作成者	神谷 桂太
建築面積	1,055 m <sup>2</sup>	確認日	2021年08月30日
延床面積	2,986 m <sup>2</sup>	確認者	神谷 桂太

外観パース等

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 84%

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.7

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える性能を確保している。居室面積の1/6以上の開閉可能な窓を確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える性能を確保している。BEI=0.71。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して84%。
Q2 サービス性能	0.1≤[壁長さ比率]<0.3。	
LR2 資源・マテリアル	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



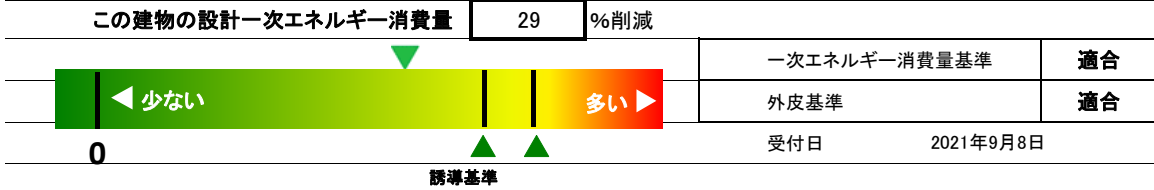
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)岡沢町プロジェクト 邸新築工事

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 5

##### ■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



##### ■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を超える性能を確保している。

③BEI= 0.71

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 4

##### ■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4を超える(相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

##### ■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

##### ■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

##### ■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 1

##### ■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
(仮称)岡沢町プロジェクト 邸新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	重点項目 <非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>							<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>			<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
1.1 騒音			3.0	0.50	3.0	0.50	-
1.2 遮音			3.0	0.50	3.0	0.50	-
1 開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能			-	-	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音			-	-	-	-	-
<b>2 温熱環境</b>			<b>3.0</b>	0.35	<b>2.9</b>	1.00	<b>2.9</b>
2.1 室温制御			3.0	1.00	3.7	0.50	-
1 室温		快適・働きやすさ ⑨温熱環境	-	-	3.0	0.63	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	1.00	5.0	0.38	-
3 ソーン別制御性		快適・働きやすさ ⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ ⑨温熱環境	-	-	1.0	0.20	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ ⑨温熱環境	-	-	3.0	0.30	-
<b>3 光・視環境</b>			<b>3.0</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 昼光利用			3.0	0.67	4.0	0.30	-
1 昼光率		快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.60	5.0	0.50	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	3.0	0.30	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.40	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策			-	-	3.0	0.30	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	3.0	1.00	-
3.3 照度		快適・働きやすさ ⑩光環境	3.0	0.33	3.0	0.15	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ ⑩光環境	-	-	3.0	0.25	-
<b>4 空気質環境</b>			<b>3.0</b>	0.25	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.2</b>
4.1 発生源対策			3.0	0.60	3.0	0.63	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	1.00	-
4.2 換気			3.0	0.40	3.6	0.38	-
1 換気量		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	3.0	1.00	3.0	0.33	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	5.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	3.0	0.33	-
4.3 運用管理			-	-	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	-	-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ ⑪空気質環境	-	-	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>			-	0.30	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>			<b>2.2</b>	0.40	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	3.0	0.60	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	3.0	1.00	-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性			1.0	0.30	2.0	0.40	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ ⑫機能性	-	-	-	-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ ⑫機能性	1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理			2.5	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ ⑫機能性	3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ ⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>2.8</b>	0.30	-	-	<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性		防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能		防災 ⑮耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数			2.6	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	1.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		防災 ⑰信頼性	2.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		防災 ⑰信頼性	3.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.2</b>	1.00	<b>3.1</b>
3.1 空間のゆとり			-	-	3.4	0.50	-
1 階高のゆとり			-	-	3.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ			-	-	4.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)岡沢町プロジェクト 邸新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮		1.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.5
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				4.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮				3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>					-	-	-	-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>					-	-	-	-
<b>健康と安心</b>					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		1.0	-	-	-	-